

【問題1】

次の黄玹『梅泉野録』卷一上の記事(1)及び(2)を読み、問いに答えなさい。
なお史料の標点は出題者による。また「」内は細注である。

- (1) 庚辰夏、以前承旨金弘集為修信使、前往日本、時倭人開港于濟物浦、已有年、稍稍請近京輦、朝廷以新門外天然亭、許其駐劄之所、倭領事花房義質入居之、要求張皇、從違者半、而終不得其要領、遂有弘集之行、

- (2) 又選廷紳有才望者、魚允中朴定陽沈相学趙準永徽世永趙秉稷李元会等八人「一人俟考」、謂之遊覽朝士、東入日本、俾覘情形、既而諸人俱還、惟允中、自江戸徑渡上海、上書称、周覽中国、冀有一得、少副聖上勤遠之略、上対近臣嗟嘆曰、魚允中重涉滄溟、不由予旨、其国耳忘身、豈不可嘉、趙寧夏微笑而対曰、此犯越罪人也、上嘿然、

問1 記事(1)を書き下しなさい。

問2 記事(2)を現代日本語に訳しなさい。

【問題2】

次の項目「A」「B」より一つを選び、それに対する自分の理解を簡潔に述べなさい。なお選択した項目記号を明記すること。

「A」朝鮮の近代化と日本の関係

「B」近代朝鮮社会において宗教団体が果たした役割

【問題 3】

次の項目①～⑧より二つを選択して解説しなさい。なお選択した項目番号を明記すること。

- ① 統蔵経
- ② 中原高句麗碑
- ③ 三一運動
- ④ 元曉
- ⑤ 日省録
- ⑥ 八関会
- ⑦ 崔南善
- ⑧ 訓民正音

【問題 4】

次の朝鮮語文を日本語に訳しなさい。

著作権上の理由により削除。
下記出典の本文 11～12 頁より約 350 字分を抜粋。

※出典：金度亨『大韓帝国期の 政治思想研究』（知識産業社，1994 年）